

Hib ワクチン (アクトヒブ^(R))

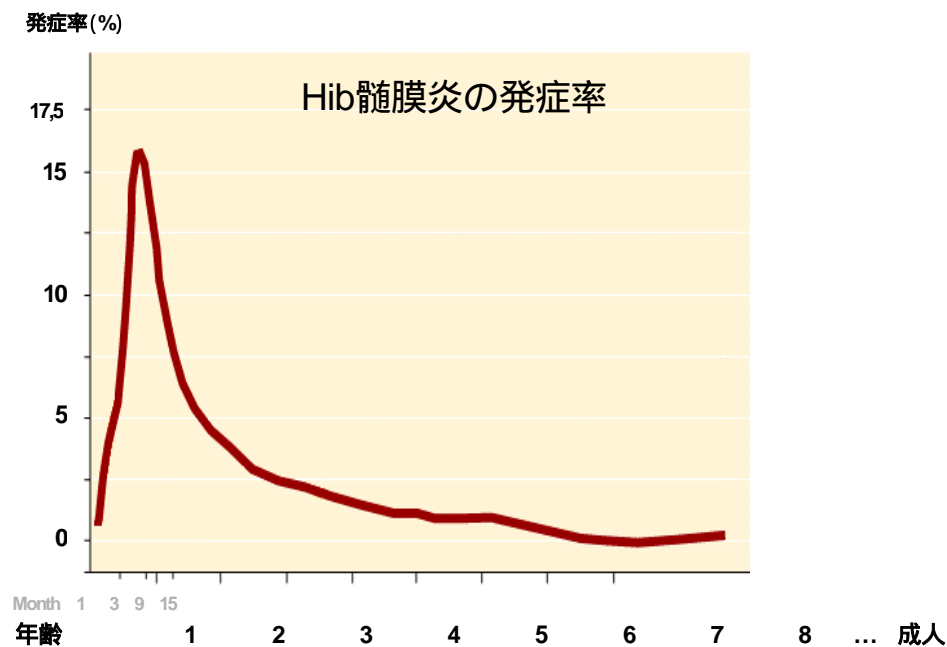
ヒブ

Hib (ヒブ): ヘモフィルス・インフルエンザ菌 b 型の略称
 インフルエンザ菌は肺炎球菌とともに、「こどもののど・はなの常在菌」
 のどから、血液に侵入し(菌血症) 髄膜に感染する。その危険率は
 肺炎球菌の 12 倍。細菌性髄膜炎にかかった子どもの約 66%は 0~1 歳児(下グラフ)
 2008 年 12 月より日本でもヒブワクチンが接種できるように(任意接種)
 2011 年 1 月より京都市ではヒブワクチンが公費接種(無料)に
 2013 年 4 月よりヒブワクチンは肺炎球菌とともに国の定期接種に
 ワクチン導入前は Hib による細菌性髄膜炎は、年間 600~700 人にのぼっていた
 が、3 年前の公費接種開始から、細菌性髄膜炎は激減している(下表)

0~4 歳児の
細菌性髄膜炎などの患者発生率

| | 2008~10年の 3年間平均 | 11年 [減少率※] |
|-----------------|--------------------|-------------|
| ヒブによる 髄膜炎 | 7.7人 | 3.3人[約57%↓] |
| ヒブによる 肺炎など | 5.1 | 2.8[約45%↓] |
| 肺炎球菌に よる髄膜炎 | 2.8 | 2.1[約25%↓] |
| 肺炎球菌に よる肺炎など | 22.0 | 14.9[約32%↓] |

※ 3 年間平均と比較した 11 年の減少率
 (厚生労働省研究班の調査結果を基に作成、
 患者発生率は 10 万人当たりの患者数)



副反応：発熱(数%)、局所の発赤 or 腫れ(約 7 割、すぐに治まる)
 標準的な接種スケジュール

| 月齢 (ヶ月) | スケジュール | |
|--------------------|-----------------------------------|-------------------------|
| | 初回接種 | 追加接種 |
| 2 ~ 6 | 3 週以上の間隔で 3 回接種 1 回目 2 回目 3 回目 | 3 回目から 7~13 か月後 4 回目 |
| 7 ~ 11 | 3 週以上の間隔で 2 回接種 1 回目 2 回目 | 2 回目から 7~13 か月後 3 回目 |
| 12 ~ 60 (5 歳未満) | 1 回目接種のみで終了 | |

(作成：13 年 12 月 吉祥院こども診療所)